

平成 12 年度東海・北陸地区教室系技術職員等合同研修

(情報コース) 参加報告

名古屋大学工学部・工学研究科技術部 稲石 守男

本年度の東海・北陸地区教室系技術職員等合同研修(情報コース)は岐阜大学総合情報処理センターで8月28、29、30日の3日間開催された。

第一日目は開講式、記念写真撮影の後、後藤教授による「暗号の基礎理論」総務部道谷人事課長による「服務」、午後、河瀬教授による「計算機支援工学におけるシミュレーションの実際」池田教授による「情報検索の基礎技術」の講義が行われた。午後5時から第2食堂で意見交換会が開催された。ビールとつまみによるパーティー形式の懇親会で事務局職員の司会で懇談し参加者相互に親睦を深めた。

2日目は午前午後共に受講者を2班に分割し第1班、第2班交互に実習「WWWによる情報公開に関する実習」「ネットワークセキュリティに関する実習」が総合情報処理センター田中技官、佐藤技官指導の下に行われた。「WWWによる情報公開に関する実習」はHTML4.0を中心とした新しい規格のHTMLによるホームページの製作作業を中心としたものであった。また「ネットワークセキュリティに関する実習」としては佐藤技官の指導の下にはほぼ管理者レベルのテーマで実習を行った。尚、実習を挟んで総合情報処理センター長の奈良教授の説明がありその後、内部を見学した。この総合情報処理センターはネットワークシステムとしては基幹速度が622MbpsのATM系と100MbpsのFDDI系の2系統から成り立っている。LANの情報コンセントは100Mbpsと10Mbpsの自動切り替えとしユーザーはFDDI系からATM系へ移行する事が可能である。また計算機システムはUNIX OSのベクトル計算機とスカラー並列計算機を中心に据えている。また画像処理システム、ファイルサーバーを有する。このような電子計算機システムを管理運用し一般情報処理教育、学術研究、図書館関連業務、入試情報処理業務等への利用を提供し更に岐阜大学の情報ネットワークの中核として機能する事を目的として設立されたものであり、ベクトル計算機、スカラー計算機、ファイルサーバー、画像処理計算機、研究講習用ワークステーション、教育用マルチメディアワークステーション、情報処理教育サブシステム等を備えている岐阜大学の情報基幹システムとの旨であった。実際に基幹線上のCISCO router ファイルサーバー等の中枢部も見学させて貰う事が出来た。

3日目は山本教授による「パターン認識とその応用」小鹿教授による「岐阜におけるバーチャルリアリティの現状と国際戦略」の講義が行われた。午後は各務原市にあるVRテクノプラザを見学した。このVRテクノプラザは第三セクター事業として岐阜県が主導するバーチャルリアリティ関連の企業が集合している団地とも言える施設であった。

伺った話によれば第1日の懇親会の後で有志による技術職員問題に関する懇談もあった模様であり研修の側面としてそのような情報交換も有意義である事を痛感した。情報処理センターの技官は2名であるのに良くその職責を果たし、今回の研修にも充実した企画と真摯な実習指導で臨んで頂き、真に感謝に絶えない思いがした。

分析・物質技術系